人と地球によりよりより

より良く見える撮影・活用術

広報委員会 柏原一仁



- ・撮影前に気をつけること
- 撮影テクニック (意識すること)
- ・素材の使い方

柏原一仁

茨城県連盟つくば第1団 ローバー隊隊長 ビーバー見習いから活動、自宅が団本部だったので、い ただきますより先にボーイスカウトを覚える(無自覚)。

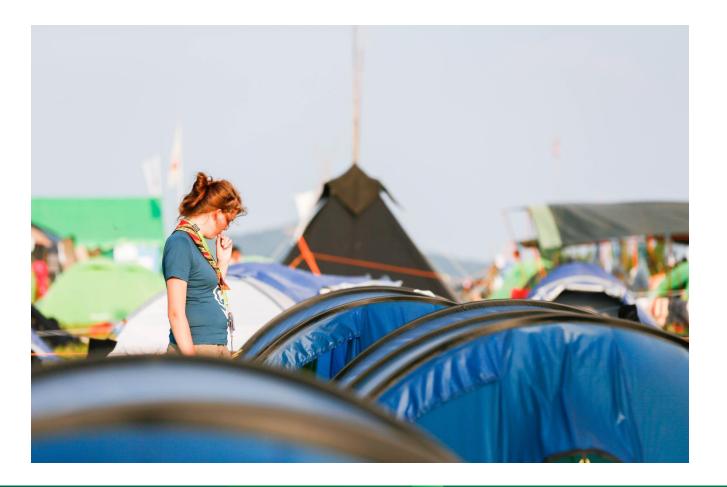
日本大学芸術学部写真学科卒 専攻はポートレート、デジタルフォト、カラーマネジメント 現在はフリーランスで撮影、撮影アシスタントなど。 仕事は写真撮影より映像撮影がほとんど。

ボーイスカウトでの広報的関わり 16NJ、23WSJ、17NSJ、18NSJ広報部 日本連盟ドリームチーム所属、撮影、編集、配信、簡単なDTPやデザイン作業など 2024年度から日本連盟広報委員













































1922 - 2022

ジャンボリー大集会 - 第17回日本スカウトジ : ャンボリー

6.7万 回視聴・7 年前 に配信済み

第18回日本スカウトジャンボリー開催地決定:

2.5万 回視聴·7 年前





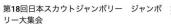
ジャンボリー公式アプリ公開!その機能の全: 貌は?

6446 回視聴·3 年前



ボーイスカウト日本連盟100周年記念ソン: グ「ボーイスカウト」~いま 高き峰へ~

1.8万 回視聴·3 年前



3.7万 回視聴・3 年前 に配信済み



2022 (令和4) 年度全国大会 開会式·表彰

7918 回視聴・3 年前 に配信済み



令和3年度Web全国大会 ~100周年まで: あと、〇マイル~

1万 回視聴・4年前



子育てに関わるすべての人へ! 第2回全: 国こども体験フォーラム(2022年1月30日...

2398 回視聴・3 年前



2023 (令和5) 年度全国大会in岡山 開会 式〜全国こども体験フォーラム〜表彰式

6526 回視聴・2 年前 に配信済み



全国こども体験フォーラム2021

3000 回視聴·4年前



ボーイスカウト日本連盟 100周年記念ムービ :

9856 回視聴·2年前



ローバースカウト集合訓練 -避難所運営訓練-: 3268 回視聴·1年前

本題

に入る前に、質問はチャット欄で受け付けます。 いつでもどうぞ 広報誌、保護者への報告、フォトコンテスト、ムービーコンテストなどの目的で写真や動画は大切

活動の魅力を伝えることで、見た 人の行動に変化を与える →参加する、応援する、など。

あと思い出!



人と地球に よりよい未来を



撮影の目的が何なのか

→最終媒体をイメージ、意識して準備する、プログラムや位置・時間

どういう立場で撮影に入れるのか

→大会であれば公式広報なのか、外部の立場からの取材なのか、団や隊の広報としてなのか

許認可関係

→著作権(撮影者・所属団体)、肖像権(被写体)、撮影許可(撮影場所)

撮影の目的が何なのか

県連広報誌に載せる?SNSに投稿する?団ホームページ?写真コンテスト?

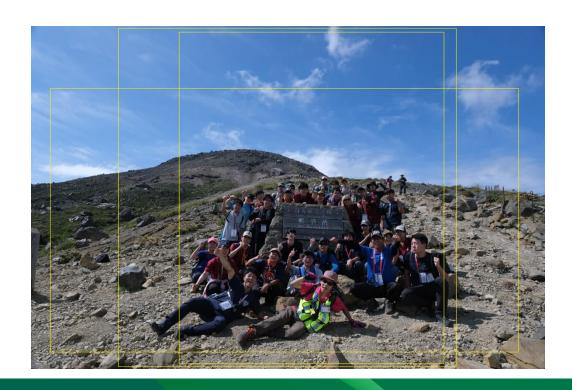
→それによって、構図やサイズが変わる











意識して準備する

その場で何が起きるのか想像することで、機材や自分のポジション確保をする、事象が起きてからではベストタイミングは撮れない

→撮影テクニックにも共通するが、撮影場所が知らない場所であれば、 事前に下見をする、撮影対象よりも先回りしておくなどが、最終イメージを 変化させる。

プログラムや位置・時間把握

広報的素材に限らず、撮影対象はおはようからおやすみまで活動しているので、人より早く起きて人より遅く寝ることが求められることがあります。

大会などで同時に様々なことが起きる場合、事前にプログラムの内容、場所、またその導線やディテールを事前に確認しておく必要があり、当該担当へのアポイントなどが必要です。また、さつえいのタブー(皇室等撮影許可がある場合、神社等の正面から撮影すること等)がないか、必要そうな場合には事前に確認をします。

どういう立場で撮影に入れるのか

たとえば大会等の公式広報であれば、他者より優先されますが、大会に参加している隊指導者等であれば、行動が制限されることがあります。必要な素材が撮影できないと困るので、適切な権利を事前に取得できるよう申し込みをしましょう。

許認可関係

権利処理は非常に重要で、どれだけ頑張って良い写真を撮っても、使えるか使えないかはこれ次第です。また処理していないことでそもそも撮影できなかった、ということもあり得ます。

許認可関係

肖像権は媒体に写真・映像を使用する上で一番重要な権利処理になります。これが得られない場合、一切使用できないことになります。



【画像の取り扱いについて】

活動中に撮影した写真、動画などの画像は、活動報告書や補助金の申請、コンクール等の応募、ホームページ、広報誌、団員募集チラシなどへ使用 することがあります。画像の使用期限は定めません。なお、本人から正当な理由で修正・削除を求められた場合は、適切に対応いたします。

県大会などの場合には、肖像権が処理されていない場合、公式に広報として撮影に入っても、どこにも何にも使えません。

日本ジャンボリー等の大会では、参加申し込み時点でその処理がされています。

ただし撮影時に本人が拒否した場合、その素材は使わないことが重要です。 (信頼関係)

未処理な場合、撮影前または撮影後に口頭で確認することで事後トラブルを防ぎます。



撮影後にはなりますが、撮影したものに映り込む個人を特定するもの制服の名札たまたま映り込んでいるハンドブックに書いてある記名そういうものは撮影後に読めないように処理する必要があります。 処理しなくていいように撮影することも、場合によってはテクニックかもしれません。

被写体の後ろに映り込んでいる一般人、たとえばその被写体の行っている行動とはまったく別の通行人などがいる場合、肖像権侵害になる可能性は低いというのが一般的です。

街頭インタビューの後ろ歩いている人に権利主張があまり通らないなどの例



著作権は、みなさんが撮影したものを自分のものだと主張できる権利です。

自分で好きにその素材を使うことができる、他者が勝手に使ったことに対して意義の申し立てができます。一方ボーイスカウトの広報用の撮影となると、およそ団や、大会の主催者に帰属させるのが適当と考えています。このあたりは、自分の権利処理なので、権利主張する気があれば、事前に団や大会主催者に確認をしておかないと、あとで揉めることになります。(およそ相手方は著作権についてなど気にしていない)

日本ジャンボリー等の大会の広報では、撮影した著作権は日本連盟に帰属するが、コンテスト等に応募する場合は本人の権利として可ということで事前に処理します。

撮影許可はそもそもその場所での撮影が可能かどうかの地権者等との確認です。

たとえば、公園等で商業的撮影を勝手にしていると怒られます。

我々の活動はほとんどの場合収益とは関係ないと思いますが、地権者がダメといえばダメですし、お金払えと言われれば払わなければなりません。事前にそのような可能性がありそうであれば、処理が必要になります。

加えて・・・制服や動作が正しいかどうか。

これはスカウティングが正しく外に伝わるために重要です。

「アウトドアスキルがあるボーイスカウトが、軍手をしてナタを使っているのだから、それが正しいだろう」と写真を見て判断した人がいたらどうでしょうか。

制服の着用には、規定があります。正しく着用ができていない場合、修正してから撮影することが必要な場合もあります。撮ったあとには直せないので・・・

私はステージ等に登壇するスカウト・指導者を撮影する場合、事前に制服を拝見して、記章の着用順やハットの被り方等を直してもらうことがあります。

理事長でも、首元直しました。 (失礼ながら・・・)



誰がメインなのか どこで起きているのか 何が起きているのか

1枚では説明できないこともある寄りと引きを抑えておく





思った瞬間を撮れているか →たくさん撮る (連射できれば連射)













状況を整理できるポジションに入る











遠近を利用する





スカウトが活動に集中できるようにする

カメラ目線の活動写真はあまり使えない。活動に集中してもらいながら、寄っても引いても写真が撮れるようにするにはどうするか。

普段からこの人は撮影する人だと認識してもらうこと、スカウトは次第に気にせず活動するようになります。慣れるまでは無駄打ちでも撮り続けること。

キャンプファイヤの撮り方

キャンプファイヤは非常に難しいです。

暗いのでブレます。炎は明るいので白飛びします。露出差のコントロールが難しい。

カメラでもスマートフォンでも、光に寄る構図を意識することで、明るい表情だけ、またはシルエットとしての人を撮れるようになります。

または三脚を使って、引きの円全体を撮る。動いている人はブレますが、 ファイヤーの雰囲気は撮影できます。

カメラで撮る場合には、ブレないシャッタースピードに固定して、なるべく絞りとISOで頑張って、暗くてもブレない写真を撮っておくと、あとで数枚は使えるはず・・・

ハイキングは体力勝負です。班が来る前に待ち構えてパトロールの寄り引き を撮影します。

通り過ぎたら後ろ姿を撮ります。

ダッシュしてその班を抜かして、次の良いポイントに先に入っておきます。その繰り返しなので、撮影よりも足腰が勝負です。









水遊びの撮り方

水遊びに限らず、水まわりでの撮影は、ギリギリを攻めるのが良いのですが、 機材水没のリスクとの天秤が必要です。

川などは水面に近いほうが魅力的に見えます。陸でも水浴びなどをしている場合、その近くまで寄って撮るのが、水滴が見えて良いですが、レンズに水滴がついたら次の撮影に影響するので、気をつけなければなりません。

ライティングとして逆光を狙うのが水滴に光が反射してキレイに映ります。

素材の使い方

撮影前に気をつけることでもお伝えした通り、使い方を意識しておくことで、 実際に使う時にも使いやすくなります。

素材の使い方





素材の使い方





質疑応答

